

【評価実施概要】

事業所番号	17050131316		
法人名	社会福祉法人愛全会		
事業所名	グループホームてんとう虫の家		
所在地	札幌市南区川添14条2丁目3 - 23 (電 話) 011 - 572 - 8845		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年3月11日	評価確定日	平成20年3月28日

【情報提供票より】(平成20年3月12日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 13年 10月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 6人, 非常勤 2人, 常勤換算	1.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造亜鉛 造り
	2階建の 1 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	51,000 円	その他の経費(月額)	21,000 円	
敷 金	有 (円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) (無)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,333 円	

(4) 利用者の概要 (3月11日現在)

利用者人数	名	男性 0名	女性 9名
要介護1	3	要介護2	1
要介護3	2	要介護4	1
要介護5	2	要支援2	
年齢	平均 83.7 歳	最低 73 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 愛全会
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利便性の良い閑静な住宅街の中にある。同法人が運営母体の老健施設が隣接している。管理者はじめ職員は、和やかな態度で接し、研修参加、記録書類の工夫など日々研鑽を重ねており、質の高いケアが実施しており、チームワークも良い。家族は職員に対して非常に高い評価を表しており、信頼が厚い。利用者の表情は明るく活き活きとしている。開設時から地域とのかかわりの重要性を認識し、理念に「利用者と地域の結びつき」の大切さを掲げている。利用者は日中居室に居るより、リビングに集まり利用者同士の会話や利用者職員との関係が家族的な雰囲気でお話を楽しんでいる。利用者の潜在的な残存能力を引き出し、少しでも長く元気な活動できるよう支援をしている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	評価の改善点は緊急時の対応をいつでもできるようにする訓練を、毎月のカンファレンス会議時に実施し、体制を整えている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全員で自己評価の意義を理解し、普段の支援のあり方を見直し、現状分析を行い、職員の意識と質の向上へ向けて取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進が意義は定期的開催し、レジュメには毎回理念と議題を載せて提案している。議事録は誰が見ても判るように議題別に記録されている。会議のテーマもより地域とのかかわりができるかを重点に意見を聞きだし取り組んでいる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族からの意見・要望を積極的に聞きだし、運営に活用している。運営推進会議への参加を全家族に案内している。家族からの信頼も厚く、温泉旅行やホームのお祭りなどの行事に参加してもらい、親睦と情報の交換をしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会には、年2回の「てんとう虫の家」便りを町内会の回覧板で状況を知らせている。地域の行事の参加とホームが主催する祭りに参加してもらうなど相互の協力関係が作られていて、除雪などの支援を得ている。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時(平成13年)法人のモデル事業として立ち上げられ、理念には、当初から地域とのかかわりを大切にすることを目標とした理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ケンファレンス会議・ケアプラン作成時などでは、支援のあり方が理念に基づいて行われているかを反省する時間として位置づけて、取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事(新年会・敬老祭・ふれあいサロン等)に参加とホーム独自の行事(夏祭り)に参加を呼びかけているが、今後更に月一回ボランティアの協力で開催しているダンス教室・手品・お茶会に参加してもらう企画をしている。年2回「てんとう虫の家」便りを町内会回覧板でホームの様子を知らせている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者・管理者・職員は自己評価・外部評価の意義をよく理解し、カンファレンス会議で反省する機会として改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は議題を明記し定期的を開催している。ホームの取り組みを詳細に説明し、更なる工夫についての意見を出してもらいながら運営計画に取り入れている。家族には意見を出してもらおう場として、全員に出席の案内をしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスを質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>包括支援センターに会議の案内と議事録などを提出しながら市との連携を深めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族の訪問時には、生活状況や職員の状態などを話、更に「てんとう虫の家」便りに写真を掲載して生活状況を知らせている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>権利擁護の仕組みを家族に示し、第三者を通して意見を述べることもできること説明している。家族の訪問時・運営推進会議の中でも意見を出す機会を作り、改善に取り組んでいる。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>7年間で結婚と異動の2人だけで、職員の定着が高いことがうかがえる。新人の場合は一定の期間1人夜勤はさせないことになっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じた育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は職員の意見を良く聞き、介護の楽しみ、ADLの変化は何らかの支援したことの結果が表れるという努力が報われる事が認識できることを、全体で受け止めてもらえるようにしている。外部研修(勤務扱い)にも熱心に取り組んでいる。年休も取りやすい配慮がある。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	北海道認知症高齢者グループホーム協議会・南区グループホーム管理者連絡会の研修交流会に参加し、サービスの質の向上に努めている。今後更に広範囲のホームとの交流を企画している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	現状では直ぐ入所しているが、事前に見学・ショートステイの利用と徐々に馴染みながら入所ができる体制になっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事の味付けや料理を学び共に食事を楽しんでいる。遊びの中でも、漢字の諺を学んだり昔の歌を教してもらい一緒に歌っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族から自宅での暮らしぶりを聞き、カンファレンス会議で個々人の行動記録（センター方式等）から状況を把握し、問題点・変化を共有化して個人のケアに生かしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月1回のカンファレンス会議で介護支援専門員とスタッフ全員で話し合いながらケアプランを立てている。家族が来訪した時にケアプランを見せて意見と要望を聞き入れている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月の定期見直しだけでなく、毎月のカンファレンス会議でのモニタリングによる見直しと、状況の変化を見ながら随時計画の見直しを家族と話し合いながら計画の変更をしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>病院への受診のための送迎、ショートステイの受け入れ等を支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族・本人の希望する外来受診・訪問診療に応じて対応している。夜間・休日いつでも対応できる体制になっている。2週間に1回の訪問診療を実施している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>現在重度化・終末期の状況の人はないが、今後の課題として、重度化・終末期のあり方を全職員と検討・研究をしている。今後に期待したい。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個々人の気持ちを尊重した支援を具体化し、話し合いを重ね、職員の役割分担としてではなく、全体で連続した対応をしている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ホーム運営の流れを優先するのではなく、利用者の気持ちを大切にしている。レクリエーションテーブルの上に本・毛糸・カルタ・歌の本等々を置き、自己決定ができるようにして自分が楽しめるようになっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買い物から調理・味付けを共に行い、盛り付け・テーブル拭き・箸だし・お茶煎れ等利用者一人ひとりができることをやっている。食事の準備時間にはできるだけ居間に来てもらい、食事メニューを話し合い、食材を触って雰囲気を感じてもらっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2～3日に一度は入浴してもらっているが、本人の希望にあわせてた入浴もできる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の得意なことを把握し、ダンス・和裁が得意な方に人形の着物を作り・レース編みも得意な方には花瓶などの敷物作り・歌が好きの方には一緒に歌ってもらう等をきめ細かな支援を心がけている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的には散歩・買い物・喫茶店・ドライブを楽しんでいる。回覧板を届けたり近所におすそ分けに出かけている。冬以外は暖かい日には外でお茶会をしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中の出入りは自由になっている。朝利用者の服装を記録して、行方不明になっても判る様になっている。リビングに必ずスタッフが居て、見守っている。リビングには楽しいことを求めて集まり、お互い好きなことを語りあい・分かち合い・助け合い入居者同士がかかわりあっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年1回避難訓練をしているが今年から2回実施することを企画している。運営推進会議と町内会の会合にも協力を呼びかけている。消火器設備の点検と見直しを実施している。防火マニュアルを作っている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分量チェック表に記録して、水分が嫌いな方には器を小さくし量を多く感じさせない・スタッフと会話しながらさりげなく飲ませる。野菜嫌いな方には、おやつに人参やほうれん草のケーキ・南瓜・野菜ジュースなどで補っている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>キッチン是对面式で誰でもが家事手伝いができ、音・匂いを感じることができ、リビングには季節感を感じ取れる花や節句・十五夜の団子をみんなで作り飾って、テレビをつける時間を短くし懐かのメロディー・童謡を流し、自然に鼻歌が出て会話が弾むようにしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には仏壇や馴染んだ家具や飾り物が置かれている。家族が希望すれば泊まれる部屋も用意されている。</p>		

 は、重点項目。